

科目名称	臨床看護概論Ⅰ	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期		29
担当教員	田中美恵子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

看護の視点で健康障害をとらえ、看護の基本として様々な健康上のニーズをもつ、あらゆる年齢層の人々に既習の基本的な看護の考え方や、知識・技術を統合して応用するプロセスを学習する。

健康障害をもつ患者とそれを支える家族が身体的・精神的・社会的にどのような援助を必要とするようになるかを、多角的に学習する。

【2】学習目標

- 健康障害をもつ患者と家族について理解できる。
- 疾病の経過（急性期・慢性期・回復期リハビリテーション期・終末期）における患者の心理と特徴、看護のポイントを理解できる。
- 健康障害に対してよく用いられる治療や処置の特徴を理解し、それらを受ける患者の看護のポイントを理解できる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
 - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
 - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
 - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
 - ☐ 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - ☐ 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	第1章 臨床看護の特徴	講義・患者体験レポート
2	第2章 臨床看護活動と患者・家族の理解	講義 グループワーク
3	第3章 健康状態（レベル）の経過に伴う看護 健康状態（レベル）の経過と看護、健康の保持・増進・予防の看護	講義
4	急性期にある患者の看護	講義 DVD 事例演習 （慢性期・終末期 レポート）
5	回復期リハビリテーション期にある患者の看護	
6	慢性期にある患者の看護	
7	終末期にある患者の看護	
8	危篤時・死への看護	
9	第5章 治療・処置に伴う看護 安静療法・食事療法・薬物療法・輸液療法を受ける患者の看護	講義
10	放射線療法・精神療法・検査を受ける患者の看護	講義
11	手術療法を受ける患者の看護 手術療法の目的と意義、術前患者の看護	講義 DVD
12	術中患者の看護、術後患者の看護	講義 DVD
13	日帰り手術を受ける患者の看護・手術室の設備・環境、基本的無菌操作	講義 演習
14	救急処置を受ける患者の看護、ICUの看護	講義 DVD
15	試験	

【5】評価方法

筆記試験（80%）、レポート（20%）により総合的に判断する。

【6】教科書

中村恵子 他著「看護学入門7 基礎看護Ⅲ」第3版 メヂカルフレンド社 2022年

【7】参考書

水戸優子 他著「新看護学8 基礎看護[3] 臨床看護概論」医学書院 2022年

藤野彰子他 編著「新訂版 看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2022年

竹尾恵子 監修「看護技術プラクティス 第4版 2022年

【8】受講生へのメッセージ

- ・臨床看護への理解を深める授業です。楽しく学びましょう。
- ・教科書の該当ページ、を読んで講義に臨みましょう。
- ・看護概論、基礎看護技術、成人看護、老年看護、母子看護、精神看護で既習のもの、順次学習するものがあります。既習のものは復習しておきましょう。